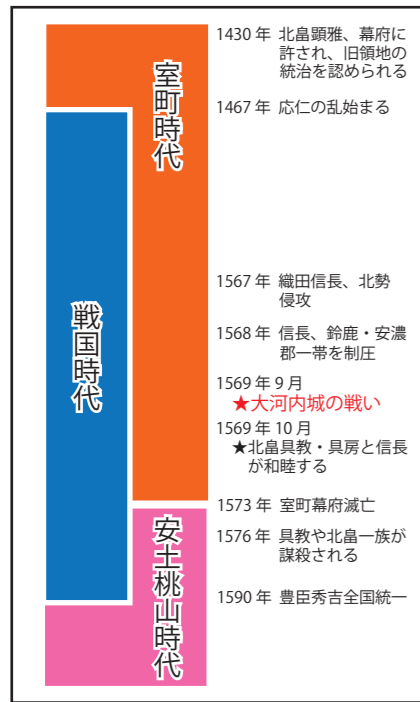


# はにわ通信

No.278 平成30(2018)年5月号



## 【松阪と北畠氏（後編）～織田信長の南伊勢侵攻時の激戦地「大河内城」～】



現在の大河内城跡に立つ大河内合戦（大河内城の戦い）の記念碑

北畠氏は、北畠顕雅が室町幕府に旧領地の統治を認められて以降、幕府に忠実な大名のひとりとなりました。そして、もともと治めていた南伊勢<sup>(1)</sup>に加え、隣接する志摩や名張、奈良の武将とも主従関係を結んで勢力を拡大し、戦国時代末期には、伊勢国で最も有力な大名となっていました。絵図や発掘調査の結果から、

北畠氏が本拠とした多気（津市美杉町）には、北畠氏の館をはじめ多くの寺院や町屋が築かれ、大いに繁栄していたことがわかっています。しかしながら、繁栄を謳歌する北畠氏にも、やがて終焉の時がやってきます。実は、その終焉には歴史上の超有名人物、織田信長がかかわっているのです。

織田信長は、尾張国<sup>(2)</sup>を統一すると、天下統一をめざし、近隣諸国へ侵攻をはじめ

ました。永禄10（1567）年に美濃<sup>(3)</sup>の斎藤氏を滅ぼすと、翌永禄11（1568）年には北勢・中勢までを制圧しました。そして、永禄12（1569）年8月、北畠氏の治める南伊勢へ、いよいよ侵攻を開始したのです。

この侵攻を迎え撃ったのは、北畠具教・具房親子です。具教・具房親子は、大河内城（大河内町）に立て籠もり、8万とも10万ともいわれる信長の軍勢と戦いました。この戦いを「大河内城の戦い」といいます。ちなみに、この戦いには、信長方として豊臣秀吉や蒲生氏郷（このとき初陣）、柴田勝家、前田利家など、よく名前の知られている戦国武将も参加しています。では、戦いの様子はどのようなものだったのでしょうか。その様子を書いた『朝倉記』<sup>(4)</sup>の一節を紹介します。

…信長 彼城へ取掛 昼夜繁く責る所に 内より鉄砲頻射出と云えども荒手を入替々々戦ふ。…（中略）…  
国司楯籠玉ふ大河内城の四方を取巻 日々夜々責戦ふ。然る所に同月中旬に城中より切り出、千計討捕けり。  
故に弾正忠（信長のこと）も 少し手弱く見えける所に…

意識：…信長は、大河内城に攻撃を開始し、昼も夜も絶え間なく攻めていた所、城の中から絶えず鉄砲が発射された。それでも、兵士を新手に入れかえながら戦った。…（中略）…。信長は、北畠具教・具房親子が立て籠もる大河内城を四方から包囲し、昼も夜も攻撃の手を緩めなかった。そうした所、同月の中旬に、大河内城から北畠氏の兵士が切り出してきて、信長の兵士を千くらい討ちとった。だから、信長も、少し弱く見えた所に…

このように、『朝倉記』では、信長側は大河内城を包囲して昼夜問わず激しく攻撃し、それに対して、北畠氏側も守りを固くし、時には反撃して信長側に損害を与えたとされています<sup>(5)</sup>。

(1) 一志郡・飯高郡・飯野郡・多気郡・度会郡を合わせた地域。 (2) 現在の愛知県西部。 (3) 現在の岐阜県南部。  
(4) 戦国大名・朝倉氏に関して江戸時代に書かれた書物。 (5) 「大河内城の戦い」について書いた書物には、『朝倉記』のほか、信長側の視点で書かれた『信長公記』や北畠側に立って書かれた『勢州軍記』などがあります。巷では、『勢州軍記』にある、本丸と西の丸の間にある魔虫（まむし）谷でおこなわれたとされる激しい攻防戦、「魔虫谷合戦」がよく知られています。また、「大河内城の戦い」は50日にもおよぶ籠城戦になったとされています。

その後、戦いは、信長の次男・織田信雄を具房の養子として北畠氏の家督<sup>(6)</sup>を継がせるという条件で和睦<sup>(7)</sup>となりました。

この条件の意味する所は、北畠氏の実質的な敗北です。しかし、信雄に家督を譲ったはずの具教・具房親子は、その後も家来の領地を安堵<sup>(8)</sup>したり、信長を倒そうとする策略に手を貸したりしたようです。そして、その結果、天正4（1576）年11月、信雄が差し向けた刺客により、具教は三瀬館（大台町）で謀殺され、その他の北畠一族も殺害されました。ここに、室町時代から戦国時代にかけて、松阪地域を含む南伊勢を治めた北畠氏は実質的な終焉を迎えることになったのです。（担当）

(6) 家長としての地位や身分。 (7) 争っていた人や国が仲直りすること。 (8) 領主が家来の領地の所有権を認めること。本来なら、信雄が家督を継いでいるので、北畠氏にはこのような権利は無くなっているはず。  
※この記事を書く際、『史料が語る 中世城館と北畠氏の動向』（下村登良男、2004年、十楽）、『三重県史 通史編 近世1』（三重県、2017年、ぎょうせい）などを参考にしました。

## 【五月…菖蒲の節句】

『こどもの日』には、子どもたちが健康で立派に成長できるよう祈り、菖蒲を飾ったり、菖蒲の葉をお風呂に浮かべたりします。菖蒲の葉や根には、強い香りや薬効があり健康を守る薬草として用いられ、菖蒲湯にすることで、爽やかな香りを楽しみ、身体を温める効果も得られます。

また、この時期に柏餅を食べますが、柏の葉は「新芽が育つまで古い葉が落ちない」といわれ、それは親が子どもの成長を見守り、次の世代をみることに繋がり、子孫繁栄の縁起物として食べられています。古代から食べ物を盛る食器として葉が用いられ、それを『かしきは』といい、その中でも柏の葉がよく使われたことから「かしわ」となったようです。風薫る五月、季節の行事や食べ物、草花を楽しみましょう。

文化財センターでは、4月から学習支援展示「大昔のくらし～きみものぞいてみよう！～縄文・弥生・古墳時代」を開催しています。新緑美しいこの季節、鈴の森公園の花菖蒲園を見に来て、是非「はにわ館」を訪ね、古代のロマンを感じるひとときをお過ごしください。（所長）



## 文化財センター はにわ館 & ギャラリーの催し物予定

5月の休館日は、7日（月）、14日（月）、21日（月）、28日（月）、  
6月の休館日は、4日（月）、11日（月）、18日（月）、25日（月）です。  
開館時間は9：00～17：00です。

【はにわ館】 入館料 100円（18歳以下無料） \*入館は16:30まで

第1展示室 ■常設展「宝塚古墳の謎」

第2展示室 ■学習支援展示「大昔のくらし～きみものぞいてみよう！～」 6/3（日）まで

【ギャラリー】 入場無料

第1G ■松阪公民館絵画グループ カンバス展 5/6（日）～5/13（日）9:00～17:00 ※最終日は16:00まで

第2G ■みえび展 5/6（日）～5/12（土）9:00～17:00 ※最終日は16:00まで

第2G ■百合絵画教室友の会作品展 5/15（火）～5/20（日）9:00～17:00 ※初日は13:00から、最終日は16:00まで

第3G ■林隆久写真展 伊勢和紙に映す「ヴェネツィアの印象・憧れの山々」  
5/15（火）～5/20（日）9:00～17:00 ※初日は13:00から、最終日は16:00まで

第1G ■花かたらい 青雅流展 5/19（土）～5/20（日）9:00～17:00 ※最終日は15:30まで

第2G ■第39回 日本画グループ「彩」展 5/22（火）～5/27（日）9:00～17:00 ※初日は正午から、最終日は16:00まで

第1G ■NTT 0B 趣味の作品展 5/25（金）～5/27（日）9:00～17:00 ※最終日は15:00まで

第3G ■墨彩画展 5/25（金）～5/27（日）9:00～17:00 ※最終日は16:00まで

第2G ■墨絵の会展 5/29（火）～6/3（日）9:00～17:00 ※初日は13:00から、最終日は16:00まで

第3G ■フォトクラブ遊遊「第25回 写真展」 5/29（火）～6/3（日）10:00～17:00 ※初日は13:00から、最終日は16:00まで

第1G ■花の教室 花夢「自然の恵みで紡ぐ押し花作品展」 5/30（水）～6/3（日）9:00～17:00 ※最終日は16:00まで

【ワークショップ】

第3G ★「勾玉ネックレス・はにわストラップづくり」 5/3（木）～5/5（土）10:00～15:00（受付は14:30まで）  
※予約不要、材料費（1セット）100円